日中韓国際学術シンポジウム

東アジアにおける書教育と教員養成

この度、日中韓国際学術シンポジウム「東アジアにおける書教育と教員養成」を開催することとなりました。日本では『学習指導要領』の改訂、教育職員免許法の改正など、書写・書道の教員養成を取りまく環境が急激に変化しております。中国においては、『中小学書法教育指導綱要』以降、学校教育における書法教育が急激に変化し、書法教育を専門とする有為な教員養成が求められているところです。韓国においては、厳しい書芸教育を取り巻く環境において、書芸教育に関わる研究者が、状況の改善に向けて新たな動きを展開しつつあります。

本シンポジウムは、このような書教育を取りまく状況を的確に捉え、今後の書教育と教員養成を検討します。中国からは、『中小学書法教育指導綱要』制定の中心的役割を担った雷実氏（華中師範大学教授）をお招きし、本綱要の制定の背景と趣旨、今後の書法教育の展望についてお話しいただきます。また、王力軍氏（山西大学准教授）、張志熏氏（京幾大学校教授）をお招きするとともに、主催の東京学芸大学書道教育研究会の加藤泰弘（東京学芸大学教授）や所属の研究者によって、三国の書教育と教員養成の現状について分析し、今後の展望について討議していきます。

年末のお忙しい時期ではございますが、是非ともご来場いただき、ともに東アジアの書教育について課題を共有し、書教育のこれからについて考えることができればと考えております。ご参加のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

日　　時　１２月２３日（土）１３時～１７時　１２時３０分開場
場　　所　日中友好会館 大ホール（東京都文京区後楽１丁目５番３号）
参 加 費　無　料

※事前申し込みは不要です。ただし、会場の定員を超えた場合、座席がご用意できない場合があります。参加者には資料（冊子）をお渡しいたします。

プログラム

司会：草津祐介

■調査報告

①教育法規に見る中国の小・中・高等学校における写字書法教育と教員養成　草津祐介
②韓国の小・中・高等学校における書藝教育と教員養成　金　敬順
③質疑応答

■講　　演

中華人民共和国『中小学書法教育指導綱要』の制定過程と書法教育の展望　雷　実
（華中師範大学教育学院教授、教育部国家基礎教育課程教材専門家作業委員会委員、中国教育学会教育実験研究分会副理事長）

■パネルディスカッション

「日中韓の大学における書教育と教員養成」

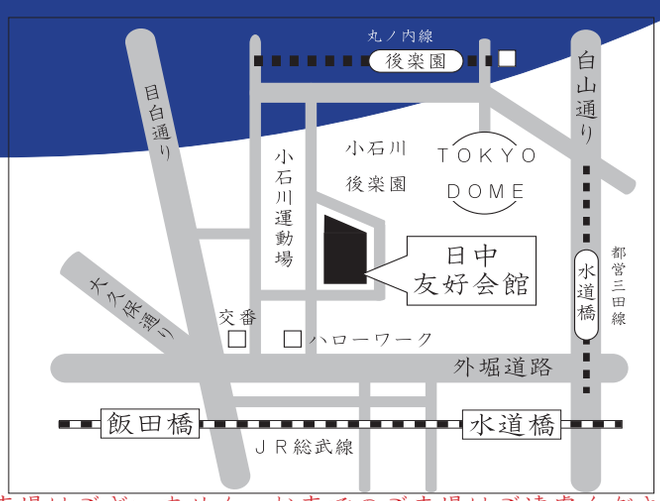
コーデイネーター　加藤泰弘（東京学芸大学教授）
パネリスト　王　力軍（山西大学准教授）
張　志熏（京幾大学校教授）

主　催　東京学芸大学書道教育研究会

事務局（お問い合わせ先）
〒184-8501　小金井市貫井北町４－１－１
東京学芸大学 芸術・スポーツ科学系 加藤泰弘研究室
FAX 042-329-7615
MAIL usk932@hotmail.co.jp

■当日 18 時より懇親会を開催します。（会費 7000 円予定）
参加希望の方は事前に事務局まで申し込みください。

■本国際学術シンポジウムは科学研究費助成事業（学術研究助成基金）16K04746 の助成により開催いたします。



駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

アクセス
①都営大江戸線・「飯田橋」駅 C3 出口より徒歩約 1 分
② JR 総武線、地下鉄東西線・有楽町線・南北線　「飯田橋」駅 A1　出口より徒歩 7 分
③地下鉄丸ノ内線「後楽園」駅より徒歩 10 分

■講演者

雷　実（LEI Shi）

1943 年、中国湖北省武漢市生まれ。
華中師範大学教育学院教授。教育部国家基礎教育課程教材専門家作業委員会委員。中国教育学会教育実験研究分会副理事長。中華人民共和国教育部『九年義務教育語文課程標準』（実験稿）研究・制定グループ中心メンバー、『九年義務教育語文課程標準』(2011 年版) 研究･制定グループ中心メンバー､『普通高中語文課程標準』(実験) 制定グループ中心メンバー､教育部『中小学書法教育指導綱要』制定グループ責任者、香港『高中中国語文課程標準』内地顧問､アモイ『高中段階中文科基本学力要求』(第一語文、教学語文）（第二語文）二種テキスト研究・制定グループ責任者。
研究分野は課程論、語文課程論、中小学書法教育、教育科学研究法。
主な著書に『教育思想と教育実験』､『教育実験方法論』『小学語文教育の評価』『初中語文教育評価』『中小学書法教育指導綱要読解』『語文課程設計の文化開放』がある。

■パネリスト

王　力軍（WANG Lijun）

山西大学准教授、大学院（修士）指導教員。山西大学美術学院書法系副主任。山西省書法家協会学術委員会委員。
東京学芸大学大学院教育学研究科修了（教育学修士)。大東文化大学大学院文学研究科修了（書道学博士)。
2004-2009 年度日本政府国費奨学金留学生。2010 年 6 月大東文化大学青山杉雨賞。2009-2011 年度大東文化大学人文科学研究所研究員。2012 年度山西大学海外優秀人材支援計画入選。2014 年度東京学芸大学訪問学者。2016 年度同志社大学高級訪問学者。

張　志熏（JANG Ji Hoon）

成均館大学校大学院修了（文学修士)。成均館大学校大学院修了（哲学博士）。
京畿大学教授、大学院美術学科博士課程主任教授。京畿大学校東 ASIA 芸術研究所所長。韓国京畿道文化財専門委員。韓国書芸協会評論分科委員長。韓国書芸学会副会長。韓国書芸批評学会編輯委員長。
主な著作に『学校文化芸術教育書芸･韓国画分野示範授業結果報告書』（研究責任者、2015 年）がある。

加藤泰弘（KATO Yasuhiro）

東京学芸大学教授。連合学校教育学研究科博士課程（芸術系教育講座）所属教員。平成 19 年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官を併任し、学習指導要領の編集や周知を担当。国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官。日本教育大学協会全国書道教育部門副代表。全国大学書写書道教育学会常任理事。東京学芸大学書道教育研究会代表として日中韓の国際交流活動を推進。国立青少年教育振興機構全国青少年書き初め大会審査員ほか審査員、大会講師を数多く務める。

■報告者

金　敬順（KIM Kyong Sun）

石川県生まれ。
東京学芸大学大学院教育学研究科修了（教育学修士)。
東京学芸大学書道教育研究会事務局、高麗書芸研究会理事。第 32 回韓国全国学生書芸作品公募展指導教師賞（2013 年）受賞。
研究に「韓国における書芸振興に関する法律案について」(『東アジア書教育論叢』第 4 号）他がある。
JSPS 科研費（16K04746）研究協力者。

草津祐介（KUSATSU Yusuke）

静岡県生まれ。
東京学芸大学大学院教育学研究科修了（教育学修士)。2005 年より華東師範大学美術学院に国費留学（中国政府奨学金)。
桜美林大学、都留文科大学、武蔵野大学兼任講師。立教新座中学校高等学校非常勤講師。
第 2 回公益財団法人日本習字教育財団学術研究助成受給。JSPS 科研費（16K04746）連携研究者。JSPS 科研費（17K14044）研究代表者。